



生活の漢字 学習支援の 実践

漢字を「楽」しく
「楽に」学習するために

(公財) 明石文化国際創生財団
「いろはクラブ」運営事務局

事務局（日本語学習支援ボランティア）の課題

- ① ボランティアさんから漢字の指導方法について相談を受けたとき、事務局として適切なアドバイスをしたい。
- ② 漢字学習を希望する学習者に対し、どのように教えればいいのかわからない。



『生活の漢字』をかんがえる会による漢字教室 ～漢字ってどうやって教えるの？勉強するの？～ を開催

日 時：2023年9月9日（土）

参加者：日本語学習支援ボランティア（日本人）と外国人学習者

支援ボランティアと学習者向けの講演とワークショップ

①「漢字さがし」で、建物内を歩いて
自分の興味のある漢字を見つけて写真を撮る。



② 書き順など、漢字の書き方のルールを学ぶ。

③各自が①で見つけた漢字をグループで共有し、その日に学習する「今日の漢字」を決める。
→グループごとに今日の漢字を学習するためのプリントを作る。
(漢字の中に知っている形やカタカナを見つけて学習)

「生活の漢字」学習支援の理解と普及（事例）

漢字教室で学んだ学習方法を取り入れた授業

—Aさん（イラン出身）・Mさん（学習支援者）ペア—

- ① 漢字の中にカタカナを見つける
- ② 書き順通りに書いて練習する
- ③ 学習した漢字をよく出てくる単語や文章の中で使い、定着させる



学習例①

牛・馬・鳥・魚の漢字は知っていたが、「ぶた」は？

⇒「豚」の漢字を分解して、「月」と「家」の一部が入っていることで覚えることができた。

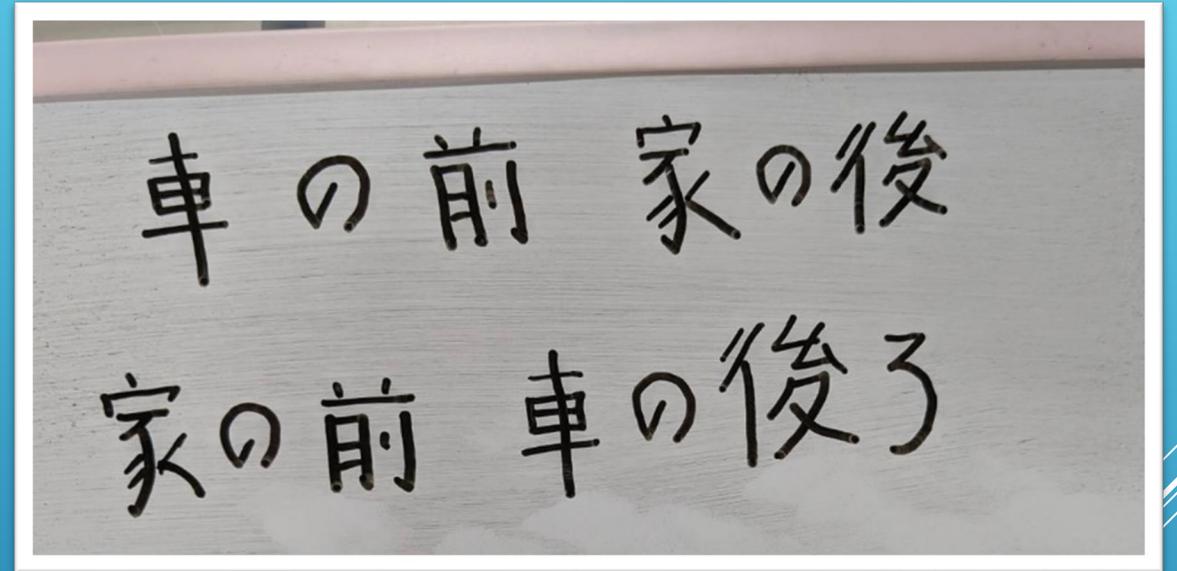
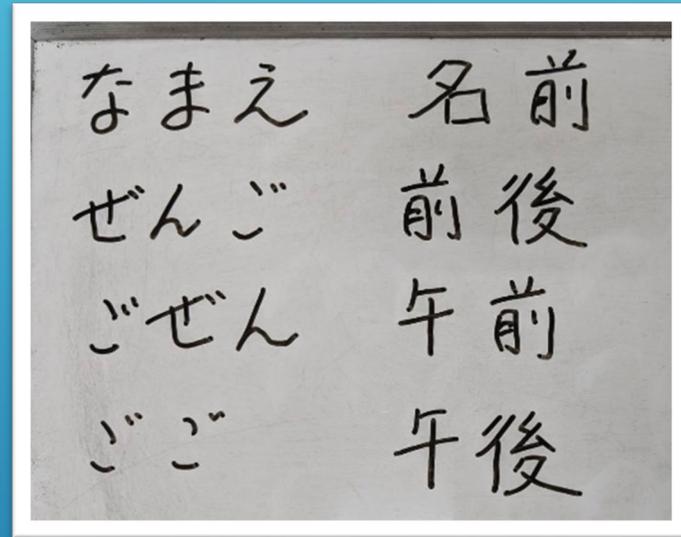
学習例②

「公園」：「公」→「ハム」

「園」→「保育園」や「動物園」など知っている単語に使われており、それらに関連付けることで覚えられた。

学習例③「前と後」を学習

→「名前」「前後」「午前」「午後」など知っている単語へと広がっていく。



「漢字教室」受講後に漢字学習に変化はありましたか？

学習者（Aさん）：

- ① 漢字学習の目的の変化
- ② 買い物で必要なことがわかるようになった
- ③ 仕事で人に頼っていたことを自分で解決できるようになった
- ④ 人付き合いがスムーズになった。
- ⑤ その他生活で便利なことが増えた。

生活・仕事の両面で便利になったことが嬉しい。

学習支援ボランティア（Mさん）：

① 学習方法の変化

（例）「非常口」→「非常用エレベーター」

② 学習者の取り組み方の変化

- ・漢字学習をする上でコツがわかり、気持ちに余裕ができてきた。
→身の回りの漢字に自然に意識を向けられるようになった。
- ・オリジナルのテストを作成・実施

教え方の大きなヒントを得られた。

『生活の漢字』をかんがえる会による漢字教室を経て

・事務局の課題の解消

- ① ボランティアから漢字学習の相談を受けた際、アドバイスをできるようになった。
- ② テキストの活用方法が広がった。

・漢字教室によって得たノウハウの活用

- 学習者にとってのメリット
- 学習支援ボランティアにとってのメリット

今後の「いろはクラブ」の日本語学習支援にとって非常に有益な講座でした。